

第 22 回 J C H O 宇和島病院地域協議会 議事概要

【日 時】 令和 8 年 3 月 6 日（金） 16 : 00 ~ 17 : 00

【場 所】 J C H O 宇和島病院 3 階講堂西

【議 題】

1. 令和 7 年度の事業計画と経営状況の進捗報告について
2. 研修医等の受入状況について
3. 発表『骨粗鬆症外来のご紹介』
4. 発表『「シニア健康診断」の 8 年間の実践報告』
4. 意見交換
5. その他

【出席者】

荻 田 仁 志（くきた内科クリニック院長）
竹 田 尚 彦（宇和島医師会 事務長）
名 倉 英 雄（宇和島保健所企画課長）
山 本 弥 生（宇和島市保険健康課長）（以上：五十音順）
渡 部 昌 平（J C H O 宇和島病院院長）
矢 野 達 哉（J C H O 宇和島病院副院長）
佐々木 修（J C H O 宇和島病院副院長）
清 家 和 子（J C H O 宇和島病院看護部長）
佃 達 也（J C H O 宇和島病院事務長）
小 倉 麻 由（J C H O 宇和島病院整形外科医師（発表者））
村 田 健 一（J C H O 宇和島病院健康管理センター管理課長補佐（発表者））
伊 藤 博 一（J C H O 宇和島病院総務企画課事務長補佐（総務企画））
山 口 真 由 美（J C H O 宇和島病院総務企画課事務長補佐（経理））
四 宮 勝 美（J C H O 宇和島病院総務企画課（医事）算定病歴係長）

【概 要】

1. 令和 7 年度の事業計画と経営状況の進捗報告

令和 7 年度事業計画（数値目標等）および経営状況の進捗状況（収支、病院の 1 日平均患者数・患者 1 人 1 日当たり診療収入、附属老健の 1 日平均入所者数・通所者数）等について報告を行った。

[意見]

特になし

2. 病院の重点的取り組み（トピックス）に関する報告

① 骨粗鬆症外来のご紹介

骨粗鬆症リゾンサービス（OLS）の概念に基づき立ち上げた OLS チームの活動のひとつである骨粗鬆症外来開設などについて、発表を行った。

[意見]

（外部委員） 宇和島市では骨粗鬆症検診を希望者に年 1 回実施しています。健診結果を送る際に、先生の外来にご紹介できるのではないかと思います。その一手手前の予防の段階の方を見つけ出すために、健康チェック表のご紹介はできるものでしょうか。

（発表者） チェック表自体は、骨粗鬆症治療薬のホームページや、当院のホームページに載せており誰が使っても問題ないと言われています。当院でも健診の紹介のところで同封したいと思っています。私の外来では、初診の方でリスクが高い人や他の主訴で来られている人で、と話しており、健診ではしっかり調べても問題ないと思います。骨粗鬆症と診断される前に私の外来に来ていただいて、生活習慣からの場合は投薬以外の方法で骨質を良くし骨密度を上げていく指導ができるかと思っています。

②「シニア健康診断」の 8 年間の実践報告

8 年間実践してきたシニア健診についての報告を行った。

[意見]

（外部委員） 2023 年度と 2024 年度に受診者の数が大幅に増えているのは、具体的にどのような取り組み、受診勧奨されたのかお聞きしたいです。前職で、受診勧奨の事業で特定健診の受診率向上に非常に苦労した記憶があります。今後の参考になるものがあればお聞かせ下さい。

（発表者） 健診の受診者数の目標設定をしました。特定健診の予約時にシニア健診のパンフレットを同封し、特定健診の受診券があればその割引ができると案内し、少しずつ増やしてきました。シニア健診 1 コースには、男性は前立腺検査、女性は骨密度検査があります。2 コースは腹部エコー検査があるため料金が少し高くなっています。

3. その他（意見交換・質疑応答等）

（外部委員） 訪問看護ステーションの関わりがあるため、お願いしたいことがあります。今、医療と介護の連携で厚労省の ICT 機器を使った連携を推進しているように思いますが、宇和島市の南予地域医療連携ネットワークシステム「きさいやネット」について、過去に JCHO のセキュリティの問題があり却下されたのですが、再検討して頂きたいです。システムは厚労省ガイドラインに則っており 6 年間問題は発生しておりません。緊急な情報は電話が入ってきますが、軽微な変化を共通カルテで気軽に共有できる利点があり、現場は早期に利用したい要望があります。

（内部委員） このご時世で DX はより中心するような傾向もあり、セキュリティの問題もその当時と比べると強化されていると考えます。前向きに検討させて頂きたいです。

（外部委員） 医療救護活動、災害時のというところにおきましては市立宇和島病院を核として津波が来ない JCHO 宇和島病院には、災害時の医療救護体制や救護場所開設などのお

願いをするかもしれないと思っております。そういった危機管理についても、ぜひ一緒に継続して考えて頂きたいです。2点目は、先ほどの発表の骨粗鬆外来というところを、地域の必要な方に紹介しながら、先生もまた地域の応援等々で啓発をお願いしたいです。最後に、特定健診については今後も市としても継続して受診率向上を図っていき、まずは若い世代の方々に健診を受けて頂けるよう取り組んでおりますので、ご協力をお願いします。

(外部委員) 医療従事者の確保等が非常に苦しい状況にありながら、地域の医療提供体制も支えて頂き感謝申し上げます。県では、地域医療構想の改定に向けた作業が来年度から本格的に始まって参ります。現在、厚生労働省で作成を進めているガイドラインが出ましたら、県の本庁の医療対策課で県全体の、地域医療構想の見直しの作業が始まります。そして、各医療圏域での実際の作業が令和9年度から始まるかと思っております。新しい地域医療構想では、これまで以上に医療機関の連携、地域医療、それから介護の連携の位置づけが高まるというふうに聞いております。引き続き、地域医療の維持、それから充実にお力添えいただきたいと思いますので、ご協力をよろしくお願いいたします。